

# THIN LINE SEGMENT



SHERATON NAT



SHERATON ASB

## HOLLOW BODY SEGMENT



EMPEROR HSB

### SHERATON

●ボディ

◆メイプル/メイプル・センター・ブロック  
◆チューン-O-マチック・ブリッジ/“Frequensator” テイルピース (ゴールド・プレート) ◆ギブソン “Original Humbucking” ビックアップ×2 (ゴールド・プレート) ◆ポリウレム×2、トーン・コントロール×2  
◆3ポジション・トグル・スイッチ

●ネック

◆メイプル&ウォールナット5ピース◆ローズウッド・フィンガーボード/バール&ア/ロ  
ン・インレイ◆ナット 幅幅: 43% ◆バール・インレイ・ヘッド◆エピフォン・マシンヘッド (ゴールド・プレート) ◆22フレット◆24% スケール◆フィニッシュ: HSB、ASB、NAT◆ケース: TL

### EMPEROR

●ボディ

◆スプルース・トップ/メイプル・バック&リム◆シングル・ヴェネチアン・カットウェイ◆チューン-O-マチック・ブリッジ (ゴールド・プレート) / エポニー・ベース/ “Frequensator” テイルピース (ゴールド・プレート) ◆ギブソン “Original Humbucking” ビックアップ×2 (ゴールド・プレート) ◆ポリウレム×2、トーン・コントロール×2  
◆3ポジション・トグル・スイッチ

●ネック

◆メイプル&ウォールナット5ピース◆エポニー・フィンガーボード/バール&ア/ロン・インレイ◆ナット 幅幅: 43% ◆バール・インレイ・ヘッド◆エピフォン・マシンヘッド (ゴールド・プレート) ◆20フレット◆25% スケール◆フィニッシュ: NAT、ASB、HSB◆ケース: EM

# GIBSON PARTS

●ピックアップ

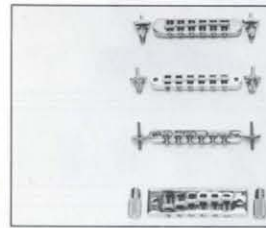
ギブソン・ギター用のピックアップと言えば、まず何と言ってもV/Lトッキング・ピックアップにどめを刺す。1867年、セス・ロビンソンによって開発されたこのピックアップは、数々の名演の基盤を作ってきた。そのトーンはソリッドでシャープなうえに、線が太く重くまろやかな。また、170フルなサステイン・サウンドも特徴で、ロック・ギタリストには欠かすことの出来ない存在となっている。写真①は上から、オリジナルV/Lトッキング、その下、58年P.A.F.サウンドを再現したP.A.T. Appl. For. ビックアップ、あのオールドの持つ粘りたてのあるトーンを簡単に再現した高級ピックアップで、レス・ポール・スタンダード 60などにマウントされている。その下は、L-6などにマウントされているトフル・フルート。だが、スーパーV/Lトッキング、スタンダード・ピックアップよりも、170とディストーションを強調したピックアップだ。一番下は、エクスプローラーIIなどにマウントされている “Dirty Fingers” (写真②)のハイ・アウトプットで、170フルなディストーション・サウンドを作り出す。ロックン・ロールには最適なピックアップだ。

写真③一番上はB・J・Bジャス。その下はレイド・ハック、B・J・Bは、カラマズー・アワード・モデルに採用している、文藝的ジャス・ミュージック用、レイド・ハックは、52年レス・ポールに採用したピックアップを再現したもので、シングル・コイルだが170もあり透明感のあるトーンを生み出す。下は、レス・ポール・テラックスにマウントされているスモールハムトッキング・ピックアップ。オリジナルとはひと味違ったクリアなディストーション・サウンドが特徴だ。その下は、E-B-3ベース用ピックアップ。



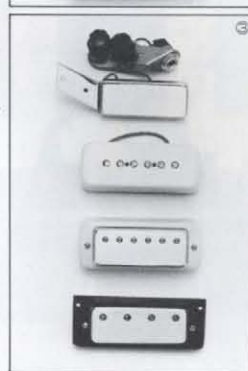
●ブリッジ

ピックアップと共にギブソン・ギターの特徴・マークになっているのが、このチューン-O-マチック・ブリッジ。ナットでのグリップを調節出来るだけでなく、ブリッジの駒を前後に動かすことによって正確なオクターブ・チューニングが可能になるブリッジだ。左を上から見て、3ポイント・チューン-O-マチック・ブリッジ。これは、ブリッジの距離にそれぞれ3つの穴が空いていて、ブリッジの調節が不可能なレス・アコースティック・ギターも、このブリッジにより調節可能になった。下2つは、本製のブリッジ。上がエポニー、下がローズウッド。エポニーのほうが軽く、従ってローズとは多少音のニュアンスが違う。



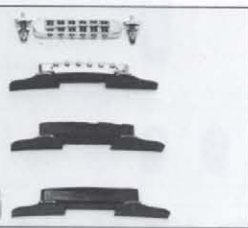
●ナット&骨格

ナット、ブリッジは、音質、サステインの面に大いに関係してくる。ギブソン社のものは材質が非常に硬く、従って音の響り、サステインも良い。左3つは、アコースティック・ギター用の骨格 (サドル)。



●ピックアップ

ギブソン・ギター用のピックアップと言えば、まず何と言ってもV/Lトッキング・ピックアップにどめを刺す。1867年、セス・ロビンソンによって開発されたこのピックアップは、数々の名演の基盤を作ってきた。そのトーンはソリッドでシャープなうえに、線が太く重くまろやかな。また、170フルなサステイン・サウンドも特徴で、ロック・ギタリストには欠かすことの出来ない存在となっている。写真①は上から、オリジナルV/Lトッキング、その下、58年P.A.F.サウンドを再現したP.A.T. Appl. For. ビックアップ、あのオールドの持つ粘りたてのあるトーンを簡単に再現した高級ピックアップで、レス・ポール・スタンダード 60などにマウントされている。その下は、L-6などにマウントされているトフル・フルート。だが、スーパーV/Lトッキング、スタンダード・ピックアップよりも、170とディストーションを強調したピックアップだ。一番下は、エクスプローラーIIなどにマウントされている “Dirty Fingers” (写真②)のハイ・アウトプットで、170フルなディストーション・サウンドを作り出す。ロックン・ロールには最適なピックアップだ。

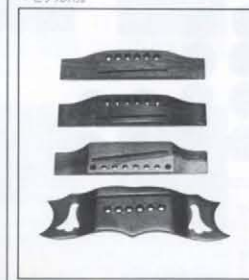


●ナット&骨格

ナット、ブリッジは、音質、サステインの面に大いに関係してくる。ギブソン社のものは材質が非常に硬く、従って音の響り、サステインも良い。左3つは、アコースティック・ギター用の骨格 (サドル)。

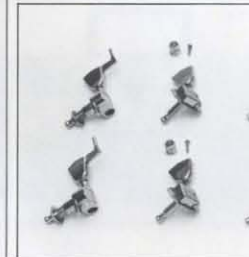
●アコースティック・ギター用ブリッジ

一番上と3番目がハミンバードやJシリウスに使われているローズウッド製ブリッジ。2番めと4番めはエポニー製。4番めはタブ・モデル用。



●ペグ

ペグは大きく分けて2つのタイプがあり、ひとつはカバリーのカカッタ “カバリー・タイプ” もうひとつはネジでギアの噛み合わせを調節出来る “ロードマチック・タイプ” がある。写真④からクラウン式シャーラー (ロードマチック)、クルーソン (カバリー)、クロバー (ロードマチック)、シャーラー、クルーソンの各タイプ。クラウン式ペグ “Crank” は、ビルト・インされたリバーを回転レシマミを出すことにより、弦交換をスピーディに行なえるニュー・タイプ・ペグだ。



●テイルピース&ビブラート・ユニット

写真⑤は、上2つが従来のストップ・テイルピース。その下は、各弦ごとのテンション調整可能な “TP-6” テイルピース。E-S-3 55、347、アーススト、レス・ポール・テラックスなどにマウントされているが、弦ごとに調節可能なテラックスを多用するギタリストに人気がある。写真⑥は、スーパーV-6などに採用しているジャス・テイルピース。これも “TP-6” と同様の調節が可能だ。写真⑦の左2つはトランプ・テイルピース。テイルピースのみによるテンション調整は出来ないという弱点はあるものの、サステインは非常にいい。右は、ファイアーバード、S-Gなどに使われていたビブロー。



●ポリウレム

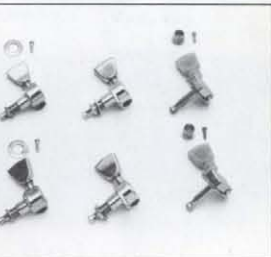
ギブソンのポリウレムはすべて番号で分けられており、何枚かの組み合わせの組み合わせは一切されていない。従って、ギターを調整して見なければわからないことが多い。ポリウレムのハワングは普通の物より若干重く、

●トグル・スイッチ

いわゆるピックアップ・セレクトラー。左から、レス・ポール、E-S-335用、S-Gカスタム用、S-Gスタンダード用、E-S-347などに付いているコイル・タップ・スイッチ、E-B-3用。



ロードマチック)、クルーソン (カバリー)、クロバー (ロードマチック)、シャーラー、クルーソンの各タイプ。クラウン式ペグ “Crank” は、ビルト・インされたリバーを回転レシマミを出すことにより、弦交換をスピーディに行なえるニュー・タイプ・ペグだ。



●テイルピース&ビブラート・ユニット

写真⑤は、上2つが従来のストップ・テイルピース。その下は、各弦ごとのテンション調整可能な “TP-6” テイルピース。E-S-3 55、347、アーススト、レス・ポール・テラックスなどにマウントされているが、弦ごとに調節可能なテラックスを多用するギタリストに人気がある。写真⑥は、スーパーV-6などに採用しているジャス・テイルピース。これも “TP-6” と同様の調節が可能だ。写真⑦の左2つはトランプ・テイルピース。テイルピースのみによるテンション調整は出来ないという弱点はあるものの、サステインは非常にいい。右は、ファイアーバード、S-Gなどに使われていたビブロー。



●ポリウレム

ギブソンのポリウレムはすべて番号で分けられており、何枚かの組み合わせの組み合わせは一切されていない。従って、ギターを調整して見なければわからないことが多い。ポリウレムのハワングは普通の物より若干重く、

●トグル・スイッチ

いわゆるピックアップ・セレクトラー。左から、レス・ポール、E-S-335用、S-Gカスタム用、S-Gスタンダード用、E-S-347などに付いているコイル・タップ・スイッチ、E-B-3用。